



2024年1月23日  
一般社団法人日本化学工業協会  
住友化学株式会社

## 日化協と住友化学、LCA 日本フォーラム表彰の最高賞を共同受賞

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：福田 信夫（三菱ケミカル株式会社取締役相談役）、以下、「日化協」）と住友化学株式会社（住所：東京都中央区、代表者：代表取締役社長 岩田 圭一、以下、「住友化学」）は、このたび、化学産業における製品カーボンフットプリント※（CFP）算定推進の取り組みを対象として、第20回 LCA 日本フォーラム表彰において最高賞である「経済産業省 産業技術環境局長賞」を受賞しました。

LCA 日本フォーラムは、ライフサイクルアセスメント（LCA）に関わる産官学の交流促進、ならびに LCA の啓発・普及活動の推進を目的とするプラットフォームです。本表彰は経済産業省ほかの後援により 2004 年度から実施されており、日化協は第 9 回に続く 2 度目の最高賞受賞、住友化学は第 11 回の LCA 日本フォーラム会長賞および第 18 回の奨励賞に続く 3 度目の受賞になります。

今回の受賞は、日化協と住友化学が連携して行った以下の取り組みが、社会全体のカーボンニュートラル実現に向けた実効性に富む活動として評価されたものです。

- ▶ 日化協が、化学産業におけるサプライチェーン全体の CFP 算定に関する知見を取りまとめ、2023 年にガイドラインとして公開したこと。
- ▶ 住友化学が、国際基準に準拠した CFP 算定システム（CFP-TOMO®）を 2021 年に開発し、他社へ無償で提供していること。さらに日化協と連携し、上記のガイドラインにも準拠させた上で、さらなる普及に努めていること。

国内では 2023 年 3 月に、経済産業省が「カーボンフットプリント・レポート」「カーボンフットプリント・ガイドライン」を発行し、業界別算定ルールを定めることを推奨しています。日化協は、社会全体の温室効果ガス（GHG）排出量削減に貢献することを目指し、他業界に先駆けてガイドラインを策定・公開しました。また、住友化学の CFP-TOMO®は、連産品や副産品などが複雑に関係する化学製品の CFP を簡易かつ効率的に算定できるツールとして、日化協加盟会社を中心に現在 100 社以上で活用が進んでいます。

日化協と住友化学は、今後も、より緊密かつ効果的な CFP 活動を業界として推進し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

※ 原材料の調達から製造や使用、廃棄に至るまでの製品ライフサイクルにおける各過程の GHG 排出量を CO<sub>2</sub> 排出量に換算して表したもの

<ご参考>

LCA 日本フォーラムウェブサイト <https://lca-forum.org/>

以上

本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人日本化学工業協会 広報部

TEL : 03-3297-2555

E-Mail : [publicrelations@jcia-net.or.jp](mailto:publicrelations@jcia-net.or.jp)

住友化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5201-0220

E-Mail : [sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp](mailto:sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp)